

第 195 号

発行日：2015年12月1日

発行人：神 立 秀 明

〒950-2172 新潟市西区内野上新町11810番地3

TEL 代表(025)264-5000

FAX(025)261-4430

在宅ケアセンターゆうばえ内



夕映えの会

住民の声

戦後70年シリーズ

母と私とさんぴん茶



武 田 勝 利

「わたしが一番きれいだったとき／だれもやさしい贈り物を捧げてはくれなかった／男たちは拳手の礼しか知らなくて／きれいな眼差しだけを残し皆発っていった」(詩人 茨木のり子)

私の母は終戦を20歳で迎えました。小千谷市で6人家族の長女。母は「まわりに男の人がいなくて行き遅れたわ」とぼつりといっていたことを思い出します。

一人一人、人生は違えど、あの戦争は多くの人に影響を与えました。私の母も例外ではありませんでした。その後、松代町の山里に縁があった。その後、3人の子どもに恵まれた母も今年初めに他界しました。私は、

母が39歳の時の長男として生まれました。70年前の戦争を経験していない世代ですが、その後も戦後は続いています。

今年、安保法制＝戦争法の採決強行とともに、戦争法に反対する列島騒然とした運動の中で暮れようとしています。西内野小学校区地域でも、在住の各界のみなさんが呼びかけて、西コミュニティセンターのホールで100人の集会の後、戦争法案廃案を求めるデモがコミセンから原信前を通り、平和台商店街まで。住宅街に声響く、歴史的な光景にも参加しました。この流れはいっそう来年に向けて広がるでしょう。戦後世代の一人として戦争のない社会をつくる発信を続けていきます。

今年、生まれてはじめて沖繩に行く機会があり、辺野古基地建設反対運動にオール沖繩で取り組んでいる抗議テント村の前で私もスタンディングして抗議の意志を示してきました。暑い暑い日差しが照りつける中、テントは何張りも立ち、そのなかでおじい、おばあ、沖繩の各地から駆けつけた人たちが座り込みをしています。

私がテント前で妻と抗議のスタンディングをしているとテントの中から

からおじいさんが声をかけてくれました。「どこから来たの?」、「新潟からです」というと「え、新潟から、よく来たね」といって「暑いからお茶飲んで」といって出されたのがさんぴん茶。さんぴん茶というのは、新潟でいうところのジャスミン茶なんです。冷えていておいしかった。「これも食べて」とお茶の脇に山と積んであったのはシークワイサーでした。果実そのままですが、すっぱくて、いくつも食べられるおいしさでした。

座り込みは、454日目を迎えていました。おじい、おばあはこれが毎日の日常の光景。戦後70年を迎える中、沖繩のたたかいは続いています。オール沖繩で安倍政権の辺野古基地建設に対決している力は、おじい、おばあ、沖繩の人たちの毎日の座り込み、抗議の積み重ねでした。

辺野古の海岸は一面、白い珊瑚のかけらで覆いつくされるようなキレイな海。この海を基地で埋め立てさせてはいけな、そして、戦後70年を迎える節目の年、「若者を戦場に送らない」「どの子も戦場に送らない」という思いを強くしたところです。

(平和台団地在住)

夕映えの会 この1年の活動

昼食会後の3B体操でリラックス



5月

ふれあい昼食会



7月

西内野民謡流し



毎年参加しています。来年はぜひ一緒に参加いたしませんか？



東区紫竹にて運営されています

2月

新潟市地域包括ケア推進モデルハウス
「実家の茶の間」を訪ねて

4月

第23回夕映えの会総会

西コミュニティセンターにて定例総会



地域の皆さまに支えられて、今年も夕映えの会の活動ができました。引き続き、皆さまと力を合わせ、住み慣れた町で安心して暮らし続けられるよう頑張ります。来年もご支援ください。

夕映えの会

第11回ゆうばえ祭り



過去最高の来場者数でした



10月

研修旅行



三条市「コミュニティーカフェ ふうっと」



施設から発信コーナー

＊ケアハウス入居者様

インタビュー＊

入居して五年ほど経ちました。私は、来年92歳になります。あつと言う間にこの年齢を迎えたような気がします。貧乏ヒマなしとはよく言ったもので、子供を育て学校に行かせ、家事や家業と長年働いてきました。その甲斐あってか、今はケアハウ

スでゆったりと生活ができ、とても幸せです。食事は出るし、建物の作りも出来が良くして生活しやすいです。ヘルパーさんも来てくれるし、歩行器も借りていて困る事ありません。みなさん親切でよくしてもらっています。

これから92歳になるにあたって、抱負を！と言われても困ってしまいますが： 体に気を付けて、みなさんに迷惑をかけず、仲良く過ごしていきたいと思います。一年ずつ

※現在、空室がございます。お気軽にお問い合わせください。

ケアハウスゆうばえの里施設長

久住

久住

芦岡さんの

ご飯ですみ〜！

ゆうばえの里 管理栄養士 芦岡実可子

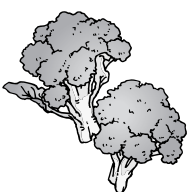
「ブロッコリーとツナのみそマヨ焼き」年中通して出回っているブロッコリーですが、日本の一般的な地域では夏に種を撒ぎ、晩秋から春先にかけて収穫されます。ですから本来最も美味しい旬の時期は、11月頃から3月頃だそうです。

〈材料〉（作りやすい分量）

- ・ブロッコリー（小房） 3〜4個
- ・塩（ゆでる用） 少々
- ・ツナ（缶詰オイル漬け） 1/2缶（1缶90g）
- ・マヨネーズ 小さじ1強
- ・牛乳 小さじ1/2
- ・A：みそ 小さじ1/2
- ・コシヨウ 少々
- ・粉チーズ 少々

〈作り方〉

- ① ブロッコリーは塩少々を入れた湯で、堅めにゆで、ざるに上げる。
- ② Aの材料は混ぜ合わせる。
- ③ アルミカップに①、汁をきったツナを入れて②をかけ、粉チーズ少々（分量外）をかける。オーブントースターで3〜4分間焼く。



2015
12ミニイベントの
お知らせ

■10日(木) 犬のトリック

&かんたんマジック

「わんわんボランティアグループ」の皆様

■11日(金) お抹茶をいただく会

佐々木紀美様他

■15日(火) レクダンス

「和の会」の皆様

■16日(水) 紙芝居

「朗読四季」の皆様

■18日(金) ヨガ体操

佐藤 千恵様

■26日(土) いっぺこと歌おいね

川崎 和幸様

とき

午後2時30分より

※お抹茶を頂く会は

午後3時15分より

ところ

ケアセンター「ゆうばえ」

デイサービスセンター

地域の皆さんのご来所をお待ちしています。
ご一緒に楽しみましょう。

職員募集中!

- ・介護職員
(夜勤可能な方)
- ・看護師
- ・主任介護支援専門員

お気軽にご一報ください。

(お問い合わせ)

TEL 264-5000

渡辺まで



投稿短歌

見上げれば

霧が流れてハケ岳

君は姿を

雲で隠して

控え目な

音が集いて混じり合い

ひとつに生まれ

歓喜の嵐

劣えて

ゆく肉体に今を見て

汗を拭きふき

リハビリをする

南 繁栄 様

連絡先一覧

夕映えの会
お弁当配食については
★配食事業部へ
090-1654-9821

生活支援については
★生活支援部へ
090-1431-7996
お気軽にご連絡ください。



**生活支援、配食、運転
ボランティア募集**

社会福祉法人ゆうえい会
在宅ケアセンターゆうばえ
(代)025-264-5000

ゆうばえの里
ケアハウス 025-264-5715
ショートステイ 025-264-5730

ゆうばえの家 025-264-0808

★介護のご相談はケアプランへ
025-264-5701

編集後記

11月に山形は鶴岡を旅する機会がありました。クラゲで有名な加茂水族館と藤沢周平記念館を見ました。若い時に藤沢周平の作品は一通り読みましたが、旅行後再読を始めた。「輝しくれ」から「用心棒日月抄」。一日数ページで眠りに落ちる日もありはかどりませんが、本当に楽しい。武家物でも市井物でも、人々の暮らしに視点を据えているからでしょう。そして若い頃には読み込めなかつた文章が多いことに気付かされます。新装なった単行本の帯が振るついています。「一読心が晴れる 再読心に沁みる」と。夕映えの会報をお届けしてあつという間に年の瀬を迎えました。たくさんの方の出会いに感謝し、皆さまに幸多かれとお祈りいたします。
(M記)